

令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 4

生産性向上補助金でトルンプ社製バンダーを導入し、労働生産性が大幅に向上！

株式会社サンフィールド工業

事業概要：(業種：精密板金業)

神奈川県横浜市港北区綱島東5丁目4-24

電話：045-543-3798

代表取締役：上野 健太郎さん

【社長より一言】

1982年より横浜市でステンレスや鉄系鋼板、アルミ、銅板を中心に精密板金加工を行っております。

半導体、自動車、医療、食品と様々なジャンルのお客様から信頼を得て受注をいただいております。



◆導入した設備

◇トルンプ社製 バンダー※ TruBend5170



※バンダー：ステンレスや鋼板など金型により曲げ加工を行う機械。

◆生産性向上のねらい

設備導入により、①板金の加工範囲が広がり、より大きな製品の受注を増やすこと、②複数の工程を1台の設備で対応し、工程数を削減することにより、労働生産性を向上させたいと考えています。

～✍️神奈川県取材ノート～

社内の従業員は若手の方から高齢の方まで幅広い年齢層の方がおりました。(取材したところ定年がないとのことでした。)社長曰く「導入した機器により、大型部品の加工技術がレベルアップした。この設備により、設計通りの数値を入力すれば誰でも加工できるようになった。一方で必ずしも、数値を入れるだけでは加工できない、素材の目や曲げる方向も考える必要があるし、素材も1ミリだと思っけていても実際は0.9ミリだったりなど、同じ板材でも厚さが違う。機器導入により大幅に自動化されたが、ベテラン職員の経験を活かしながら、若手人材に経験を積んでもらい生産性向上を図りたい。」社内の若手人材にも技術を継承しながら社員一体となった風通しの良い社風が伺えました。

●設備導入前の状況

今までの設備では、最大 1.5mしか曲げ加工ができなかったため、長尺の部品を加工する場合、曲げた部品を溶接によりつなぐ作業が必要でした。そのため、長さのある部品を製作するには工程数が増えてしまい労働生産性が伸びませんでした。



○設備導入後の状況

導入した設備は3mサイズの長尺部品も1回で曲げ加工ができるため、その後の溶接する工程数を削減することができ、労働生産性が大きく上がりました。

◇導入した設備で製造した長尺の部品



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

設備導入の必要性は感じていながら高額な設備なので、導入することに少し迷いがありました。実際に別の補助金を申請して不採択になったときは、精神的にも辛い経験でした。補助金を申請するなら採択されたいので、コンサル等に相談し、補助事業計画は業界用語に偏らないよう助言をもらいました。その上で、自社の状況や導入による効果は自分で考え、作成することにしています。

◆補助金を申請してよかった事

物価高騰の影響により導入したい設備も年々値上がりしているため、新しい設備の導入に補助金をいただけてよかったです。設備の導入後は、作業効率が上がり、従業員のモチベーションアップにもつながり、併せて光熱費も削減できました。

◆最後にひとこと！

どんなに難しい仕事でも精密板金ものであればできる限り対応いたします。

<施工例>



...

油圧タンク

パイプを切断し、位置決め治具を使用し、レーザー切断機で穴加工。
そこにエルボーと蓋を溶接。圧力試験をして漏れがないことを確認。



...

操作パネルカバー

パンチレーザー複合機でパーリングタップをしてから切断加工。
ベンダーで曲げ、YAGレーザー溶接機で溶接。
溶接箇所を削り磨いた後にHL仕上げ。



...

ステンレス製ノズルチャンパー

パイプ曲げ、機械加工、レーザー溶接、TIG溶接、バフ研磨、漏れ検査などの複合的な加工が組み合わさった製品。